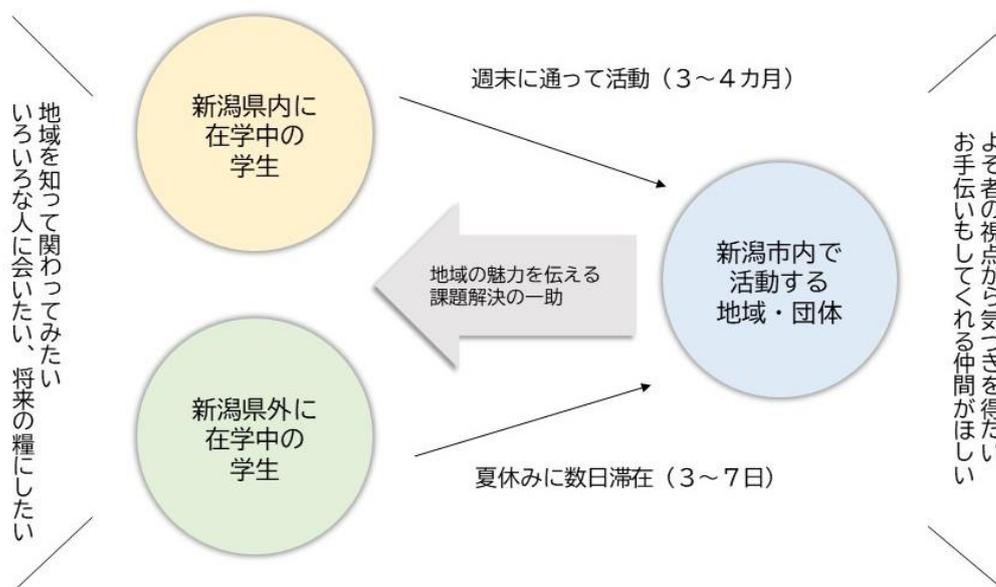


## 学生×地域の魅力探求プロジェクト「トビラ」 学生の受入を希望する皆さまへ

### ■トビラプロジェクトとは



トビラプロジェクトとは、新潟市に愛着を持つ関係人口を増やし、卒業後の転出抑制や転入促進につなげることを目的に、新潟市内外の大学等に在学中の学生が、新潟市内の地域活動を行う地域団体や住民と出会い、地域の暮らしや活動の体験を通して地域課題の解決に向けてともに活動するものです。学生にとっては実践的な学びや地域の人とのつながりが増える機会となり、新潟市内の地域団体・事業者にとっては、共感・応援してくれる若い仲間を増やし、発信など活動の充実・課題解決につなげる機会になると考えています。

### ■これまでのトビラプロジェクトの実績

	学生参加数	プロジェクト数	受入団体
2019	20名	5	石本商店、松浜Rプロジェクト、まきどき村他
2020	20名	5	南区果樹農家、岩室町内会、支え合いのしくみ支援センター他
2021	15名	5	赤塚いもジェンヌ農家、松浜市、おてつだいプラス他

2022	21名	6	パッチワーク AKIHA、タウンウォークかめだ他
2023	19名	6	岩室ともや、ハマベリング、松野尾コミセン他

2019年度から実施されてきたトビラプロジェクトですが、受入団体は町内会からコミュニティセンター、シェアハウスやまちあるき団体、農家や事業者など多岐にわたります。プロジェクトのゴールやテーマは受入団体と事務局で決めますが、参加学生の興味や気づきをふまえて話し合い、軌道修正や予定を追加したりしながら進めるため、多様な成果が生まれ、このチームだからこそそのアウトプットが生まれていたように思います。また、学生は単位取得やアルバイト代を目的に来るわけではないため、個性豊かで意欲的な人が集まります。

**\*成果物（例）**



町の店や取り組みをまとめたパンフレット      地域の花火への想いをまとめたムービー      空き家活用のアイデア案

※その他、にいがたイナカレッジのHPまたは新潟市 HAPPY ターン サイト上にもトビラに参加した学生の感想レポートなどが掲載されています。

**【参考】**

- ・ [2023 岩室シェアハウスとも家滞在記](#)
- ・ [2022 滞在型プロジェクトレポート「松浜の和と輪」](#)

## 2024年度の募集要綱

2024年度のトビラプロジェクト受入団体向けの募集要綱を以下に記載しています。応募の際にはよくお読みの上、「申し込み方法」に記載の方法でお申込みください。お問い合わせ・ご質問もいつでも受け付けていますので、ぜひ気軽にご相談ください。

### ◆プロジェクト実施期間

#### ① 新潟県内学生向け通い型の場合

2024年9月中旬～12月中旬の間の約3～4か月

※活動頻度は受け入れ団体と学生の都合で調整

#### ② 新潟県外（首都圏）学生向け滞在型の場合

2024年8～9月ごろ、3泊～1週間程度

※10月以降に報告・お披露目のためもう一度学生から来てもらう可能性あり

### ◆募集团体数

6団体

(①→4つ ②→2つの予定)

### ◆通い型プロジェクトの活動頻度（学生）

受入団体によるが、1～2週間に1日程度

※電話やメールのやりとりは含めない

※プロジェクトの段階・進捗に合わせることを前提とする

### ◆費用

受入団体としての参加費は無料。ただし各プロジェクト実施にかかる経費は主に受入団体が負担する。

※食費、交通費は大学生が自費で払うとする（公共交通機関で行けない場合はコーディネーターと受入団体で調整して送迎する）

※通い型プロジェクトは成果物作成費などとして1万円、滞在型は滞在に係る費用として2万円を実費で補助する。

### ◆参加学生について

・1プロジェクトにつき3～4人の参加学生を受け入れる（日程調整や主体性のため）

・参加学生はイナカレッジ事務局がホームページへの掲載、マッチングイベントや個別説明会などの開催を通して募集する。(学校の授業やゼミなどではなく個人で応募する形)

#### ◆受入団体の条件

- ・新潟市内に活動拠点があること。
- ・受入団体として主体的に関わる意欲があること。
- ・学生が地域の多様な人材や活動の場に関われるよう、地域人材の調整や活動の場の設定ができる構成員がプロジェクトに関わること。
- ・必要に応じてプロジェクトに関する打ち合わせにも参加できること。
- ・にいがたイナカレッジや市とともに、学生が地域やコミュニティに愛着が持てるようなプロジェクトを企画できること。
- ・特殊・高度な技術や専門性を必要としない、かつ、危険が伴わないプロジェクトを設定できること。
- ・県外学生向け滞在型プロジェクトの場合は、滞在場所（宿泊施設に限るものではない）を確保できること。
- ・県内学生向け通い型プロジェクトの場合は、コミュニティセンターなど地域活動の拠点となる施設を利用することについて了承を得られること。

#### ◆イナカレッジ事務局と受入団体との役割分担

- ・イナカレッジ事務局が行う役割は以下のものである
  - (1) 受入団体、参加学生の募集・面談・選考
  - (2) 受入団体向けの研修・打ち合わせの実施
  - (3) プロジェクトを円滑に進めるためのプロジェクト設計・実施準備のサポート
  - (4) プロジェクト期間中、状況を把握し必要があれば受入団体及び参加学生をサポートしプロジェクトを推進する
  - (5) 全体報告会の開催
  - (6) プロジェクト全体の発信（主にインスタグラム）
- ・受入団体が行う役割は以下のものである
  - (1) 参加学生を受け入れるための企画の打ち合わせ参加
  - (2) 参加学生との顔合わせ、活動スケジュールの調整
  - (3) プロジェクトに必要な地域の関係者・場所・備品等の調整・準備

#### ◆受入団体申し込み締切

2024年6月14日(金)

◆申し込み方法

イナカレッジホームページ内「受入団体募集」記事のフォームに送信、  
または「受け入れ地域・団体名、担当者名、希望内容」をお書きの上 [info@inacollege.jp](mailto:info@inacollege.jp)  
までメールしてください。※新潟市やにいがたイナカレッジ担当者への直接連絡も可

◆実施までのスケジュール

5月7日～6月中旬 問い合わせや応募を受けてイナカレッジ事務局との打ち合わせを行う。  
(実施決定していない場合は活動内容の共有をふまえ検討するところから)

↓

基本情報フォーマットを提出いただき、正式に受入団体を決定する。

↓

6月下旬に学生向け説明会（オンライン）を実施 ※受入団体は参加しなくてOK

↓

7月 イナカレッジスタッフが応募学生と面談し、メンバーを決定

↓

8月 オンライン等で各チーム顔合わせ ※そのほか、先に団体の活動に参加も可

↓

9月以降 プロジェクト開始

※1月下旬に全体報告会を行います。通い型の学生は対面参加、滞在型の学生はオンライン参加を予定しています。受入団体の担当者の方もご出席をお願いします。

主催：新潟市雇用・新潟暮らし推進課 企画・運営：にいがたイナカレッジ（中越防災安全推進機構）